

当社ファンドの9月の基準価額の下落について

2022年9月は、当社の以下ファンドの基準価額が前月末比10%以上下落しましたので、ご報告いたします。

◆基準価額が直近の1か月間で10%以上下落したファンド(2022年9月末基準)

ファンド名	基準価額 (2022年9月30日)	前月末比騰落率(分配金再投資後)
YMアセット・オーストラリア好配当資産ファンド	11,499円	-11.7%

◆基準価額下落の背景となった市況動向等

長期金利上昇などを受けて下落

当ファンドの2022年9月の騰落率は11.7%の下落となりました。下落の主な要因としては、オーストラリアのリートやインフラ(社会基盤)関連銘柄が、金利上昇などを受けて下落したことがあげられます。9月中旬に発表された8月米国消費者物価指数が市場予想を上回ったことを受けて、さらなる金融引き締め政策への懸念が高まり、長期金利は上昇、世界的に株式市場は下落傾向となりました。

また、各国中央銀行による積極的な金融引き締め政策を背景に世界経済の先行きへの懸念が高まり、豪ドルが対円で下落したことも基準価額にはマイナスになりました。

◆今後の見通しおよび運用方針

オーストラリア経済はおおむね堅調

9月は、世界経済の先行き懸念などから、オーストラリアのリートやインフラ関連銘柄は下落傾向となりましたが、足元のオーストラリア経済はおおむね堅調に推移しています。2022年4-6月期の実質GDP(国内総生産、季節調整済み)は前年比+3.6%と、好調な個人消費やコモディティ価格上昇の恩恵を受ける輸出を支えに堅調な成長となっています。また失業率が過去最低水準で推移するなど雇用環境も良好で、好調な個人消費を支える要因のひとつになっています。住宅価格は金融引き締めの効果もあり、足元下落傾向になっていますが、2021年に大きく上昇した分の比較的短期の調整であって、人口増を背景としたオーストラリア不動産の長期的に良好なファンダメンタルズに大きな変化はないと考えています。

オーストラリアでは変動金利が一般的

オーストラリアのリートは負債の多くを変動金利で調達しています。将来の金利変動の影響を抑えるために、金利スワップなどを用いて金利リスクをヘッジしていますが、負債の100%をヘッジしているわけではなく、金利上昇の影響を比較的受けやすい構造になっています。またこれは住宅ローンにも言えることで、オーストラリアの住宅ローンは変動金利もしくは初めの短期間だけ固定金利でそれ以降変動金利、というのが一般的です。

このようにオーストラリアにおいては法人・個人を問わず負債は変動金利が一般的なため、金利上昇の影響を受けやすい点は一見ネガティブのように思えますが、言い換えれば、金融引き締めの効果が比較的速やかに発現しやすいと言えます。実際、RBA(オーストラリア準備銀行)は10月の理事会で0.25%の利上げを決定しました。6月以降、4回連続で0.5%の利上げを行ってきましたが、ここにきて利上げ幅を縮小した形です。RBAは決して金融引き締め姿勢を崩してはいませんが、今回の利上げ幅の縮小は、これまでの金融引き締めの効果が徐々に出てきていること、また必要とされる政策金利の水準に近づきつつあることを表していると考えます。

運用方針

オーストラリアのリートやインフラ関連銘柄の株価は、今後も各国中央銀行の金融政策や金利動向、および世界経済の動向に左右される展開が続くと考えます。オーストラリア・リートの実績は金利上昇による負債調達コストの増加などから下方圧力がかかっていますが、賃料などの不動産ファンダメンタルズはおおむね堅調に推移しています。その金利についても、現在は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けての積極的な金融緩和政策および財政拡大政策の揺り戻しの過程にいてると思っています。適切な金融引き締め政策を経て、金利は落ち着きを取り戻し、オーストラリアのリートやインフラ関連銘柄の実績は、成長軌道に回帰すると考えています。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするためにワイエムアセットマネジメントにより作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。販売会社等についてのお問い合わせ⇒ワイエムアセットマネジメント株式会社083-223-7124(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.ymam.co.jp/>



ワイエムアセットマネジメント

商号等

ワイエムアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第44号

加入協会

一般社団法人投資信託協会

投資信託のご購入に際し、お客さまにご理解いただきたいこと

お客さまが投資信託をご購入する際には、以下の2つの注意点を十分ご理解いただいた上で、当該投資信託の「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧いただき、ご自身の判断で投資に関する最終決定をなさるようお願いいたします。

注意点① お客さまにご負担いただく費用について

	種類	料率 (税込)	費用の内容
直接的にご負担いただく費用	購入時手数料	0~2.2% (税抜2.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
	信託財産留保額	ありません。	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられます。
信託財産で間接的に負担いただく費用	運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.1~1.54%程度 ^(注)	投資信託の運用・管理費用として、販売会社、委託会社、受託会社の三者が、信託財産の中から受け取る報酬です。
	その他の費用 ・手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。(その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません)	

(注)ファンド・オブ・ファンズの場合、ファンドが投資対象とする投資信託証券における運用管理費用を加えた実質的にご負担いただく費用を表示しています。

※費用の種類や料率等は販売会社や個々の投資信託によって異なります。上記費用の料率はワイエムアセットマネジメントが運用する一般的な投資信託の料率を表示しております。

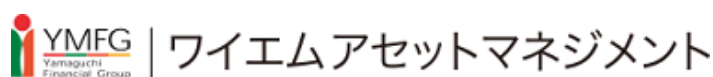
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ファンドにより異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※わくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

注意点② 投資信託のリスクについて

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。また、新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。リスクの要因については、ファンドが投資する有価証券等により異なりますので、お申し込みにあたっては、投資信託の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。



商号等 ワイエムアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第44号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。